

CAIOアジェンダ支援

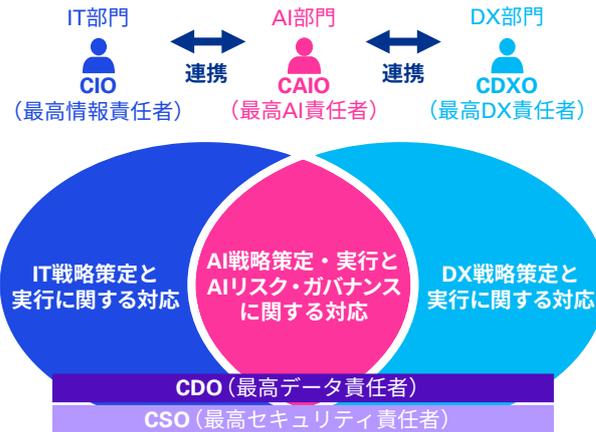
KPMGのグローバルフレームワークを用いたAI・データ活用の包括的サポート

近年の生成AIの急速な進化に伴い、世界中の企業においてデータとAIの管理・統括を担うCAIO（最高AI責任者）の設置が始まっています。KPMGは、グローバルで保有する知見を体系的に整理したフレームワークを活用し、企業が効果的かつ安全にAIを事業に取り入れるため、AI利活用の成熟度診断による課題の洗い出しからAI戦略策定、CoE組織デザイン、プラットフォーム導入、人材育成、ガバナンス対応まで、CAIOが直面するさまざまな課題の解決を包括的に支援します。

CAIOの必要性

現在、多くの企業は既存のIT部門やDX部門にAI活用推進を委ねていますが、AIの活用はより専門的な知識と経験による課題への対応を要するため、専任での管理・統括の必要性が増してきています。

そのため、AI戦略立案からユースケース創出、AI投資実行判断、AIリスク・ガバナンスの整備・運用、AI・データ利活用人材の育成、AI・データプラットフォーム導入、社内外のステークホルダーとの連携などを総合的に担うCAIOの配置が急務となっています。



企業が直面するAI・データ利活用のジレンマとCAIOのミッション

企業が直面するジレンマに対して、何を優先し、どのように施策を推進するか
の意思決定と実行のリードがCAIOのミッションです。

<p>1 攻めと守りの両立</p>	<p>CAIOは、企業としての競争優位性を確立・拡大する「攻め」と、リスクを最小化し持続的な価値創出を可能にする「守り」の観点と同時に考慮する必要があります。企業内部では、「即座にAIを活用して自動化・効率化したい」という攻めの要求と「セキュリティやプライバシー侵害、コンプライアンス違反のリスクを極小化したい」という守りの要求が常にせめぎ合い、両立することは容易ではありません。</p>
<p>2 多種多様なAI技術の進化に対する目利き力と意思決定の難しさ</p>	<p>現在のAI分野の動向は日進月歩の技術革新と新規ツール・サービスの乱立が特徴であり、CAIOにはこの激流に乗り遅れない情報収集スピードと意思決定が求められます。しかし、企業内部の従来のガバナンス、承認フロー、予算確保プロセス、法的確認作業などの手続きは、往々にしてそのスピードを低下させます。</p>
<p>3 期待と成果のギャップ</p>	<p>AIは「魔法の杖」のように期待されることが多く、現場の利用者や経営層は、劇的な効率化・生産性向上・イノベーションが即座にもたらされると信じる傾向があります。しかし、実務に投入されたAIモデルは、常に期待通りの結果を出すとは限りません。そのため、投資対効果の試算とその予算化の難易度が上がり、単にAIを導入しただけでは成果が出ない可能性があります。</p>

KPMGによる支援

KPMGは、CAIOが直面するさまざまな課題を包括的に解決するために、5つのサービスを提供します。

(1) Data & AI CoE組織支援

企業内に組成されたData & AI CoE (センター・オブ・エクセレンス) 組織に対し、KPMGのグローバルフレームワークを用いて網羅的に課題を洗い出し、包括的な課題解消とCoEのケイパビリティ強化を支援します。

- AI・データ利活用における成熟度診断
- AI・データ利活用人材の育成計画策定
- CoE組織デザイン／運営推進
- AI・データ利活用に関する研修実施・伴走
- AI・データ利活用戦略
- AIガバナンス整備・運用
- AIツールの評価・投資に対する意思決定
- 各種AI・データ利活用プロジェクトにおけるPM／PMO

(2) Data & AI プラットフォーム導入支援

AI・データ活用推進に欠かすことのできないプラットフォームの戦略策定、概念設計、導入を支援します。

- AI・データプラットフォームの戦略・構想策定
- データモダナイゼーション(データファブリック・データメッシュアーキテクチャなど)
- AI・データプラットフォーム導入
- xOps実装

(3) データマネジメント推進支援

企業が抱えるデータを誰もがいつでも活用できる形に整備することを目的に、データ品質やメタデータの整備、データマートの構築を支援します。

- データマネジメント方針策定
- データアーキテクチャ (DWH・データマートのデータモデリング) の設計
- メタデータ管理 (マネジメントプロセス策定、基盤導入)
- データ品質管理 (データ品質評価、改善推進)
- データガバナンスの整備・運用

(4) データ分析・AI構築支援

実際に企業のデータを預かっての分析代替や、分析結果からのインサイトの創出、生成AIを含むAIシステムの開発を支援します。

- 分析ユースケース創出
- データ分析代替・インサイト創出
- 分析プラットフォーム要件検討
- 分析データ定義・モデル開発
- AIアシスタント開発 (RAG、Chatbotなど)
- AIエージェント開発

(5) 生成AI活用推進支援

各種生成AIツールの全社導入・活用促進 (既存ツールも含む) をし、全社的な業務効率化を支援します。

- 各種生成AIツールの全社導入・活用促進
- 生成AI活用人材の育成 (教育プログラム設計、講師内製化など)
- 生成AI活用の促進における伴走
- 生成AIのユースケース創出・PoC (概念実証)

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

KPMGコンサルティング株式会社

T: 03-3548-5111

E: kc@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/kc

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. C25-1007

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.